

高齢者や障害者の介護で、人と社会に貢献



OG VOICE

利用者様と時間をかけて関わる奥の深い仕事

障害を持つ方の生活の支援、ご入居されている方には就寝の準備など、生活のさまざまな場面での支援を担当しています。「昨日のテレビ、見た？」のような会話で和んでいただくにも、利用者様の興味のあることや性格、表情などをゆっくり時間をかけて知っていくことが大切です。また長く接するうちに、身体の微細な変化に気がつくようにもなります。一人の利用者様を理解するのに何年もかかる、奥の深い仕事だと実感しています。



手塚 望希さん

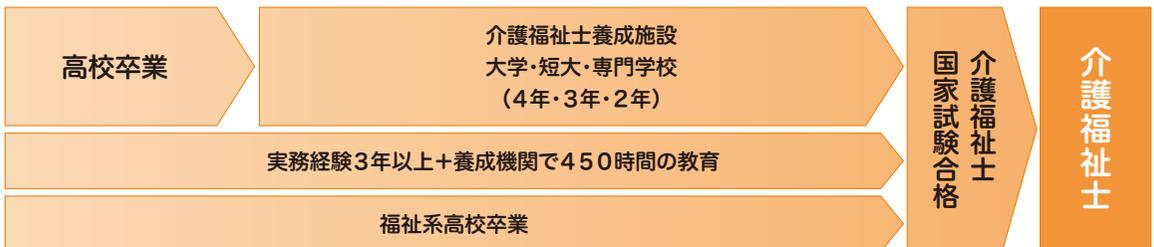
特別養護老人ホーム／障害者支援施設 新宿けやき園 勤務
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 卒業

どうすればなれる？

介護福祉士国家試験に合格することが必要です。

受験資格を得るには…

2～4年制の養成施設で専門知識・技能を学び卒業する。3年以上の実務経験を経て、養成機関で450時間の教育を受ける。などの方法があります。



※養成施設卒業生は、2027年度より国家試験を受験し、合格しなければ介護福祉士になることはできません。

※2026年度までは経過措置として、原則卒業後5年間連続して介護の業務に従事することで、介護福祉士の資格を取得することができます。

どんな仕事？

専門知識と技術で日常生活を支援

認知症や寝たきりの高齢者や障害者など、日常生活を営むことが困難な人に、衣服の着脱・食事・排泄・入浴などの支援を行います。少しでも自立した生活が送れるように、介護のスペシャリストとしての専門知識と技術を用いるとともに、それぞれの家庭の事情に合わせて、家族などに介護の指導を行います。

どこで働く？

さまざまな介護保険施設をはじめ、在宅サービスのニーズも

介護老人福祉施設

介護老人保健施設

障害者支援施設

在宅介護サービス事業

公務員

など

仕事の展開と将来の展望

需要が高まる介護のスペシャリスト

日本では、65歳以上の高齢者が全人口の25%を超え、今や4人に1人が高齢者という超高齢社会です。そこで、栄養学・調理・心理学・医学一般の知識に加え、リハビリテーション技術と介護サービスを熟知した介護福祉士の存在価値はますます大きくなります。介護保険に関するスペシャリスト「介護支援専門員(ケアマネージャー)」や、ホームヘルパーの指導や教育、スケジュール管理を行う「サービス提供責任者」にステップアップしていく道もあります。